

# 比較学習における見方・考え方

## —— 第3学年「広島市の小学校のまわり」 ——

大脊戸 若 光

### 1. 社会科と比較学習

事象を比較して観察したり、比較しながら調べ考えるという学習は、児童の見方や考え方を広げたり深めたりするのに効果的である。空間的理解や時間的理解をいっそう伸ばしていく中学年の地域学習においてもしばしば使われる学習方法である。コントラスト（対比、対照）のはっきりした教材によって社会事象の相違点をしっかりつかむことは、事象に対する確かな問題意識を呼び起こす。比較学習において大切なことは、比較の教材（資料）をじゅうぶん吟味することと比較の視点を定めていくことである。本実践では、3年生が航空写真や地図を使った比較学習において比較の視点をどのように広げ深めていったかを確認していきたい。

### 2. 単元の概要

#### (1) 単元について

この小単元「広島市の小学校のまわり」は、市域における地形的特徴、土地利用、集落の分布などに視点を置いて、人々の生活と自然環境との関連を理解させようとするものである。3年生の児童にとって東西と南北が35Kmにおよぶ広島市全域を対象とした学習は無理である。本単元の展開にあたり、「広島市の小学校の分布」を教材づくりの焦点とした。市内には、約130の小学校がある。ビルに囲まれた学校、団地の中の学校、山間の学校、海辺の学校、工場の隣の学校などそれぞれの学校のまわりは、地理的な環境を異にする。これらの中の特徴的な事例を比較対象させながら取り上げ広島市の広がりや地形・集落の分布・土地利用の様子が市内の各地域により異なることを理解させようとした。

#### (2) 指導目標

- ・広島市の広がりや地形・集落の分布・土地利用の様子が市内の各地域により異なることを理解させる。
- ・地域社会における社会事象を具体的に比較観察させるとともに、航空写真や地図などを効果的に活用する能力を養う。

#### (3) 指導計画

第1時	広島市の小学校の分布図をつくり	1時間
第2時	東雲小学校とA小学校のまわり	1時間
第3時	いろいろな小学校のまわり	2時間
第4時	広島市の土地の様子	2時間

### 3. 比較学習研究の焦点

この実践では、先にのべたように、3年生が航空写真や地図を使った比較学習において比較の視点をどのように広げ深めていったかを確認していった。ここでは、第2時における授業過程の中の個の視点の動きや児童全体の学習の深まりについて流れにそって確認していきたい。社会科の授業において「個が生きる」ためには、集団の中で一人一人の個性的な見方考え方が生かされなくてはならない。児童個々の比較の視点がどのように明らかにされ、集団との関わりをもって学習が展開されたかが研究の焦点である。

4. 第2時の学習について

(1) 本時の目標

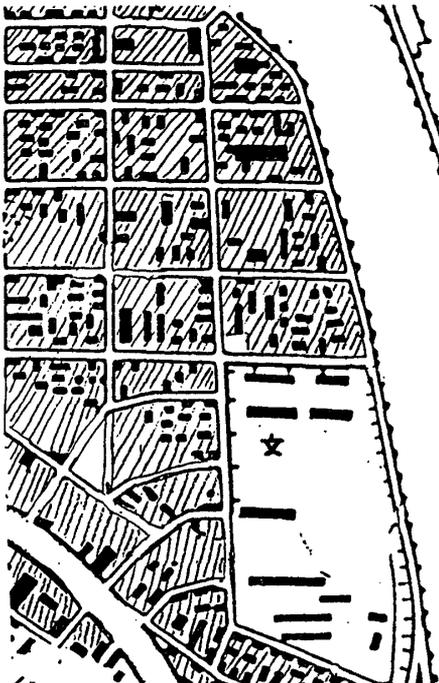
A小学校と東雲小学校のまわりを比較して、違いを理解させる。

(2) 準備 広島市の地図・学校のまわりの地図・写真

(3) 評価の観点

知識・理解	A小学校のまわりは、東雲小学校のまわりと違うことがわかる。
観察・資料	二つの学校のまわりの様子を比較して、特徴をとらえることができる。
思考・判断	A小学校の位置を広島市の地図の上で類推できる。
関心・態度	広島市の他の小学校のまわりの様子に関心をもつ。

(4) 比較学習の資料

東雲小学校のまわり	A小学校のまわり (阿戸小学校)
	
	

(5) 学習の流れ

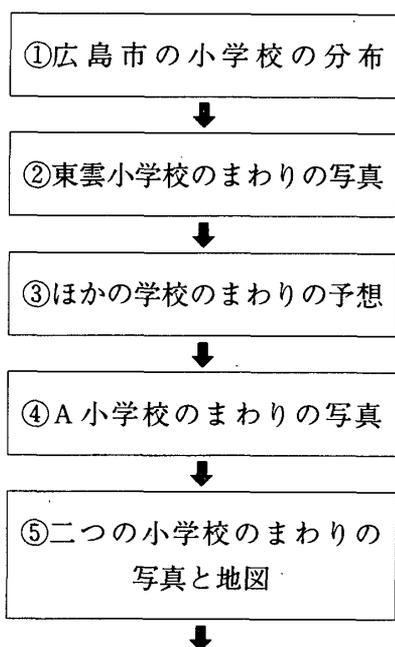
時間	教師の発言など	児童の動きなど	分節
3	11. <u>では、ききますが、この地図にあるたくさんの小学校のまわりは、この東雲小学校のまわりと同じなんだろうか、ちがうだろうか。</u> 12. 浜岡さん 13. 野曾原さん	(挙手数名) ・東雲小学校のまわりと、ほかの小学校のまわりは全部ちがいます。 ・人たちが多い中心部には、そういうふうにはビルとかがたくさんつまっていて、そういうところが東雲小学校のまわりと似ています。	③ 学校のまわりの様子についての予想
4	14. 似ているところも、あるというのですね。 15. 西谷くん	・野曾原さんが、言った意見もあるとおもうけど、東雲小学校の近くには、えんこう川が流れているので、川が流れている近くにある学校も、東雲小学校と同じです。 (挙手数名)	
5	16. <u>東雲小学校と、ずいぶんまわりの様子がちがう小学校というのは、あるのか、ないのか。</u> 17. 秋山君 18. ない。秋山君の考えは、ない。ですね。 19. 新宅さん 20. わけが言えると、もっといいですね。	・ありません。 (挙手数名) ・あると思います (挙手多数) わけ。わけ。 ・私が、シールをはったところは、中心部の学校ではないので、山の近くの方なので、ビルも少ないし、山ばかりで、学校が少なくて、中心部の方は、似たところがいっぱいあるので、あるところとないところが、あると思います。	
	21. 曾根さん	(挙手少数) ・山の方へ行くと、中心部からはずれているので、人通りが少なくて、中心部の方へ行くと、人が多くなって人が多く通るので、ちがうと思います。同じです。	
6	22. 曾根さんは、しっかり自分の考えを言えましたね。もう一人だけ、ちがうところがあるかどうか、きいてみましょう。 片桐さん		
7	23. <u>それでは、今日は、先生がこの中から、ひとつの学校のまわりの写真をとりだして見せますから、東雲小学校のまわりの様子と同じか、違うか、よく見て下さい。</u> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">写真提示</div>	山のほうじゃ、等のつぶやき ・ちがいます。それは、山とかがあって、緑がいっぱいあるからです。 家が全然ちがう。	
	24. 湯川さん	黄金小学校かな？ (つぶやき)	
	25. <u>今、秋山君が、この小学校は、どういう小学校か、と言っていましたね。今、名前はひみつです。A小学校と言う名前をかりにつけておきます。A小学校という言葉で話して下さい。</u> 片桐さん	・A小学校は、山に囲まれている中の学校だから、東雲小学校みたいに、家に囲まれている学校ではないので違うと思います。 ・東雲小学校のまわりだと、A小学校のまわりに比べて家やビルが多いので、ちがうと思います。	
	26. 秋山君。よく勉強しているよ。前で、よく見えるからな。 27. 建物の様子のことですね。 宮原君	・そのまわりは、学校から遠く離れたところに、家がかたまっていて、学校のまわりには、あまり家がありません。	
8	28. このあたりに、家がかたまっているようだね。よく見えています。写真をよくみとるはこっちと比べながらよく見て、ちがいをさがすんよ。 梶西さん	・A小学校のほうは、小さな家がたくさんあって、東雲小学校のほうは、あまり小さな家がありません。	
	29. 家の大きさに、目をつけたんですね。えらいねー。よく見る力があるわー。すごい。 田島君 (みんなすごいな。よくちがいを見つけたした、先生、安心。)	・A小学校のまわりは、小さい細い道路があるけど、東雲小学校のまわりには、2号線やえんこう川のそばの道路など大きな道路があります。	
	30. 大田君	・東雲小学校のまわりには、すきまが少ししかなく、A小学校のまわりには、すきまがあります。 ・A小学校のまわりには、田や畑とかあるけど、東雲小学校のまわりには、工場とかいろんなものがあるのでそれがちがいます。	
9	31. 綿岡君		
10	32. <u>今のはね、土地の使われ方のちがいで、というのです。まだあるの。そう、まだいっぱいあると思います。はい、この地図を見なさい。これは、A小学校のまわりを先生が地図にしたのです。難しかったんよ。皆さんは、今から3分間時間をあげますから、写真と地図を見ながら、A小学校のまわりの様子を、ここに、家や建物、土地の様子土地の使われ方、について、東雲小学校とちがうことをなるべくたくさん書く。はじめ。</u>	東雲小学校のまわり (A)小学校のまわり 	⑤ 二りのちがいを書く

<p>16 37. 西谷君 どれを言ってもいいよ。 38. 鉛筆をおきなさい。塗るのも止めなさい。 西村君 39. 大久保君 そうじゃね。先生の書きまちがいでした。 土地の様子がちがいでしょね。使い方だから 何かに使っていることですね。今の考え方は、 17 すごいと思いますよ。大久保君は、よく頭が働 いています。先生も西村君も教えられました。 40. 善教さん 41. 質問、石岡さん。ドキッとするなあ先生は 18 42. ああ、あれは先生のワープロの打ち間違いです。 「た」を一つ消しておいて下さい。みんなよう 勉強しよう。素晴らしい。いいですよ。 43. 江木君 44. 江木君が、言ったここは何に使われているんだ ろう。はい。浜岡さん 19 45. 田だけかな。田島君 46. ほかのこと、曾根さん 47. 大田君 どうぞ 20 48. 何だろう。地図に記号もついているよ。 大塚君 49. あれが、田らしいね。 熊谷君 21 50. よく知っていますね。 質問、野曾原さん 51. 田島君 ああ、そうじゃな。ちょっと水が入ってない ところ、ここにもある。 まだね、こちらの私たちの学校のまわりには、 ないものが、こちらにはありますよ。 的場君 52. そうですね。これは、どこへ書いたらいいので すか。 大久保君、そういうことに。こだわっているの 22 でしょう。 53. そうですね。山がある。 54. 浜岡さん 55. 曾根さん 23 56. まだあるの、もうやめたいんだけど。 竹末さん 57. 大田君 24 58. 色ですね。 59. あ、川は、どうですか。あるか、ないか。 岡田さん 宮原君 60. あんなのを、川幅が広いとか、狭いとか言うの ですよ。 川があると思う人、A小学校のまわりに。 いや、ないと思う人。</p>	<p>• どれを言ってもいいですか。 すきまがすごく多いいです。 • 僕は、土地の使いかたを言います。土地の使い方は、 緑がいっぱいあります。 • 緑と言うのは、土地の様子ではないのですか。 • 家や建物のことを言います。A小学校のまわりは、 家がありません。 • 質問があります。 • プリントの東雲の土地の様子「土地がたたいた ら」のところは、どういうことなんですか。 • 土地の使われ方なんだけど、A小学校は、土地が 大きく使われています。 • それは、田んぼなどに使われています。 • 田や畑もあります。 • 土地の様子を言います。小さな道路がたくさんあ るのに、すきまがあります。 • 前にも出ていいですか。 これは何ですか。(写真の田をさして) ワイワイとなる • 田です。 • 僕も、田だと思います。ふつうの田は、緑に見え るけど、それは、水を入れているからそんなに見え ると思います。 質問、質問。 • A小学校のまわりの地図には、畑がはっこの方 にあるんだけど、写真では、どこに映っているん ですか。 • (前に出る)ここに少しだけあります。 (挙手多し) • 東雲小学校のまわりには、山がないけど、A小学 校のまわりには、山が多いです。 • 土地の様子です。 (まだある、まだある、と挙手多し) • 家や建物の様子で、家のいっぱいあるところから A小学校まで、ずいぶん離れています。 • 東雲小学校のまわりには、ビルとかばっかりあっ て、A小学校の家があるところと言えば、ビルじ ゃなくて屋根がある。 • 東雲小学校の方には、工場があるけど、A小学校 の方には、工場がありません。 • 色で答えてもいいですか。 東雲小学校のまわりには、同じ色がいっぱいあっ て、A小学校のまわりは、ちがう色ばっかしです。 (川がある、ない、ワイワイ) • 東雲小学校のまわりより、川は…… • 東雲小学校のえんこう川は、分厚くて広くて、山 の方は、なんか細いようです。 • はい。(挙手多数) • はい。(挙手少数) あるワイヤー。橋があるじゃろうがー。騒然。</p>	<p>⑥ 二つの小学校のまわりのちがいを発表し合いまとめる</p>
<p>25 61. <u>ではね、こういうはっきりしないことは、川な んかは、写真では、わかりにくいのであるかな いかをビデオでね、確かめましょう。</u></p>	<p>• ある(田島) • 先生、ビデオ、うつしたん。(野曾原)</p>	<p>⑦ ビデオ</p>



## (5) 比較の視点の推移についての考察

本時は、①～⑤のように学習が展開した。展開にそって比較の視点の推移と内容について考察した。



### ア. 比較視点の数

分節③④⑤と展開につれて比較の視点の項目が増加している。分節③で4項目、分節④で8項目、分節⑤で14項目となっている。比較の資料が付け加えられるにしたがって、比較の視点も増加するといえる。また、分節⑤での地図も使用しての個別学習において比較の視点が飛躍的に増加したのは、地図が写真よりも比較を具体化する要素があることと、一斉学習よりも個別学習の方が個々の学習内容を深めることが考えられる。

### イ. 比較視点の内容

「家の密集状態」については、どの分節においても注目された視点である。どの資料においても特徴的に表われている事象はとりあげられるといえる。「田畑」「道路」「家」について発言や記述の内容を詳しく読み取ると、深まりが表れている。「田畑のあるなし」から「田畑の広さ」「田畑はどこにどれだけあるのか」のように見方・考え方が推移している。「道路が大きいとか小さい」の見方から「道路が細くて曲がりくねっている。」や「A小学校のまわりは、土地が凸凹でななめのところがある。」などのように、地図をよく読み取っている児童もいた。したがって、航空写真のみでは、比較学習の深まりが期待できないこともあるといえる。いずれにしても、その学習のねらいにふさわしい資料の提示が学習の深まりを決める。

ウ. 個の視点と集団の見方・考え方

分節①における「人通りの多少」は、資料には表わされていないので以後は注目されていない。分節⑥における「色あいの違い」は、他の視点とかさなった見方なので取り上げられなかったであろう。「川はどこにあるか」は、児童の見方にずれがあることから教師が取り上げ以後の学習での関心が高まった。個々の見方や考え方は、集団の場に出され取捨選択されて学習が展開していると言える。また、教師の問い返しによっても深まりの程度に差異が出ている。

## 7. 実践の結果と今後の課題

この授業によって、比較学習における次の事柄を実践的に確かめることができた。

- (1) 航空写真は、3年生の児童にとっても地域の事象を学習するのに有効である。
- (2) 航空写真には、学習の深まりにおいて限界があり地図にはそれを補うよさがある。
- (3) 比較学習の資料は、提示の順序や見方の指示が大切であろう。
- (4) 比較の視点が増加した段階で学習をどう展開させるかが教師の大切な仕事とである。
- (5) 比較学習をする際には、何をどこまで比較させるのか明確にしておかねばならない。

比較学習の場は、「今昔」の比較など、3年生においても多くの教材が考えられる。比較によって、児童の空間的・時間的な感覚を伸ばしていきたい。比較思考は、二者択一的でない平衡感覚を持った価値判断にもつながっている。社会科学学習における比較思考の教育的意味は、複雑に絡み合った社会事象は、平衡感覚のある問題解決をめざすことにあると思うからである。